

第4回通学区域制に関する有識者会議の概要について

1 日 時 令和6年10月31日（木） 午後1時から午後3時まで

2 場 所 徳島県庁 10階 大会議室（徳島市万代町1丁目1番地）

3 出席者

- （1） 委員 17名中17名出席
- （2） 県 教育次長、教育創生課長 ほか

4 議事の概要

- （1） 事務局から、これまでの議論等について説明が行われた。
- （2） 事務局から、生徒・保護者等に実施したアンケート結果について説明が行われた。
- （3） 事務局から、通学区域制の見直しの具体例等について説明が行われた。
- （4） 委員による意見交換が行われた。

5 意見交換の概要

- 入学者選抜における通学区域制に係る見直しの具体例について、「見直しのパターン」や「移行措置」、「準備期間（並行して）検討すべき事項」など、具体的な手法やそれぞれのメリットやデメリットを整理・提示し、検討が行われた。
- 「通学区域制の撤廃時期」や「流入率の変更」などの移行措置について、多角的な視点から議論が交わされ、複数の委員から、撤廃時期について決める必要があるのではないかと意見が上がった。
- 「学区撤廃」と併せて、「入試制度の改革」や「高校の特色化・魅力化の推進」などの議論も必要であるため、一定期間を要するといった意見や、「生徒・保護者等の混乱を招かない取組が必要」といった意見が上がった。
- 現状の学区制だけの議論をするのではなく、県の人口が減少していく今後の状況を踏まえ、「将来の高等学校の配置」や「生徒に選ばれる学校づくり」について併せて議論することの必要性が確認された。
- 第5回会議では、主に「公立高校の在り方の方向性」について議論を行い、今回の議論と併せて「通学区域制の撤廃時期」や「見直しの手法」、「並行して検討すべき事項」の具体について、更に検討を重ねていくことが確認された。